

2026年9月

HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

イヒナビ

ihinavi

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

9月だからこそ見直したい
家族を守る「防災家族会議」



備えるのは防災グッズだけではありません。
もしもの時、家族が同じ行動をとれるように
「話しておくこと」も大切な備えです。

家族で話し合っていますか？ “もしも”のときのこと

災害が発生した時、家族がそれぞれ別の場所にいることも少なくありません。そんな時に役立つのが「防災家族会議」です。事前に話し合っておくだけでも、安心感は大きく変わります。

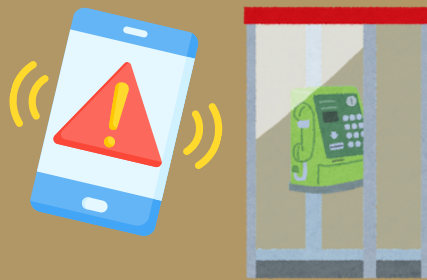


家族会議で確認したいこと *Check!*

① 連絡方法

- ☑ スマートフォンが繋がらなくなったら？
- ☑ LINEやSNSは使える？
- ☑ 災害用伝言ダイヤル171は知っている？

利用方法を確認しておきましょう💡



③ 家族の役割

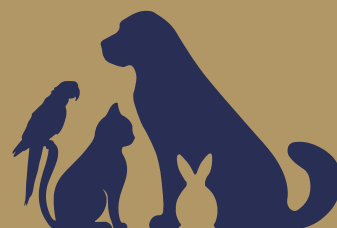
- ☑ 子どもの迎え
- ☑ ペットの対応
- ☑ 高齢の家族のサポート

事前に話しておくことで混乱を減らせます💡

② 集合場所

- ☑ 自宅に戻れない場合は？
- ☑ 避難所はどこ？
- ☑ 親族宅は使える？

共通の集合場所を決めておくで安心💡



わが家は大丈夫？ 在宅避難チェック

近年注目されているのが「在宅避難」という考え方です。
住まいの安全が確保できていれば、自宅で生活することも可能です。

家具は固定されていますか？

地震の際、家具の転倒によるケガが発生することがあります。

停電対策はありますか？

✓ モバイルバッテリー

✓ 懐中電灯

✓ ランタン

などを見直してみましょう。

ローリングストックとは？

普段から使う食品や日用品を少し多めに備蓄し、
使った分だけ買い足して常に一定量を保つ備蓄方法です。
普段から食べ慣れた食品を備えることができ、
賞味期限切れを防ぎやすくなります。

備蓄は足りていますか？

✓ 飲料水

✓ レトルト食品

✓ 常備薬

などを定期的に確認することも大切です。



家族を守るもう一つの選択 「在宅避難」と住まい

在宅避難とは、安全が確保された自宅で生活すること。
住み慣れた環境で過ごせることは、家族の安心につながります。

避難所生活との違い

避難所生活		在宅避難
慣れない環境	➡	住み慣れた環境
プライバシー確保が難しい	➡	家族で過ごせる
睡眠環境が変化する	➡	普段に近い生活
ペット同伴が難しい場合も	➡	一緒に過ごしやすい

ヘーベルハウスが考える住まいの備え

本当に大切なのは、災害時でもできるだけ日常に近い暮らしを続けられること。
ヘーベルハウスでは、

- ✓ 鉄骨躯体構造 × ALCコンクリートによって家族の命を守るシェルターを実現
- ✓ 太陽光発電・蓄電池による停電への備え
- ✓ 飲料水貯留システムによる飲用水の確保
- ✓ 食料備蓄できる収納計画のご提案

など、災害時にも暮らしを守るための住まいづくりをご提案しています。

「どこへ避難する？」の前に「この家で過ごせる？」
という視点もぜひ話題にしてみてください。

安全な住まいを 体感してみませんか？

ヘーベルハウスを体感する

▶ 展示場来場予約



相続・不動産に関する ご相談

▶ 相続・不動産無料相談会



分譲戸建のお知らせ (神奈川エリア)

▶ 港北NT北山田PROJECT



提携特典へのお申込み

▶ 提携特典お申込みフォーム



編集後記

9月は防災について考える機会が増える季節です。

備蓄や防災グッズの見直しはもちろん大切ですが、ご家族で「もしもの時」について話し合っておくことも、大切な備えのひとつです。

今回ご紹介した「防災家族会議」を通して、連絡方法や集合場所、役割分担などを確認してみてもいいでしょうか。

また、災害時にどこへ避難するのかだけでなく、「わが家で安心して過ごせるだろうか？」という視点で住まいを見つめ直してみることも大切です。

ご家族の安心について考えるきっかけになれば幸いです。



旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店